

博物館だより

国指定史跡・甲斐金山遺跡 / 湯之奥・中山金山

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館報

桜前線と共に「はとバス」がやってきた 年度末～年度初めにかけて元気をいただきました!



桜の開花、今年は例年より一週間も早く咲き始めました。桜はリバーサイドパークにある20本程のピンク色の「河津桜」が先ず先鋒を務めるかのように咲き始め、それにつづき「ソメイヨシノ」が咲き乱れました。例年この桜は下部温泉郷を訪れる皆様からも人気で、ライトアップも温泉街青年部の皆様の手で付けられました。

この桜の開花と共に、都心から「はとバス」が、数次に巨り大勢のお客様を乗せ金山博物館へやってきました。館職員も大変元気をいただきました。4月上旬過ぎのお客様の頃には桜も終りを告げ始めましたが、バスガイドさんのお話では、車中では「砂金採り体験」の話に大変花が咲いたそうです。

金山博物館の使命と役割

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館 館長 谷 口 一 夫

博物館は町の玄関口

金山博物館の役割と使命については、明確な目標があって日常活動を実践しています。そこで身延町民の皆様が博物館をさらに多面的に活用していただく為に、改めて館の使命と役割をお伝えしたいと思います。

こういう書き出しで始まりますと、誠に硬いイメージが先行いたしますが、金山博物館は開館当初から開かれた場として、誰もが楽しく過ごせる優しい空間を提供しています。例えばトイレ利用だけでも歓迎です。

「町の玄関口」でありますから、「博物館の印象イコール、町のイメージ」と考え、全職員がそれに相応しい対応をしています。このことはこれからも続くことですが、基本はその雰囲気の中で、来館者が期待するところの知的好奇心を満たす努力を続けています。お陰様でこれまでの有料入館者は23万人を迎えます。

博物館は生涯学習の場

さて金山博物館は、生涯学習機関として位置づけられています。教育基本法第3条で生涯学習の理念が示されていますが、それは「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切にいかすことのできる社会の実現が図られなければならない」とあります。その実現のための施設として博物館、図書館、公民館などがあります。とかく生涯学習といえますと高齢者のためのものと思われませんが“生涯を通じて”とありますように、人の一生に関わる重要なものです。

また“博物館”にもいろいろあります。美術館も文学館も動物園も植物園もみな博物館ですし、大自然の総体も自然（史）博物館などという括りで捉えられたりします。ですからそれぞれの博物館には固有の伝えるべき「目標」と

「使命」があり、それらを通じて学ぶ喜びを提供することになります。当然、本物の教材（歴史）で伝えることが大前提です。

金山博物館が伝えたいもの

幸い金山博物館は、国指定史跡「甲斐金山遺跡」（黒川金山・中山金山遺跡）のガイダンス館として平成9年に開館、日本における鉱山史上において重要な位置づけの中にある甲斐金山（湯之奥3金山）遺跡をテーマに教育活動を展開しています。

学ぶ（知的好奇心）意識を強くもって来館される皆様方の学習の場としての対応が、同時に観光の目玉となり、学習と観光の両面の役割を担った活動に発展しています。

私たちが海外旅行をしたときにも、必ず当地の博物館や美術館を訪れるでしょう。そこへ行けば、その地に伝わる文化に触れることができ、感動を受けることがたくさんあります。来て良かったと感動を与えられる役割を果たしたい、これが私たちの日常です。

金山博物館の来館者は京浜方面40%、東海・関西方面40%、北海道から九州までの方10%、山梨県内10%（うち身延町2%）です。

毎年同じようなバランスで、リピーター率も高く日常活動が評価されていると思います。

（国指定史跡）中山金山は身延町の宝

ちなみに日本における国指定史跡の金銀鉱山遺跡は、宮城県涌谷の「黄金山産金遺跡」、山梨県の「甲斐金山遺跡」（黒川金山・中山金山遺跡）、島根県の「石見銀山遺跡」（世界遺産登録）、新潟県の「佐渡金山遺跡」（世界遺産登録暫定リスト掲載）の4遺跡です。いずれも日本を代表する著名な金銀山遺跡ですが、その一つに戦国期から江戸期に亘り産金活動があった湯之奥中山金山が名を連ねています。これは身延町としても全国に誇れる文化（歴史）遺産、そして大きな宝です。

この日本における初源的山金山（鉾石からの産金）である湯之奥中山金山の歴史的系譜や価値については、ガイダンス館である湯之奥金山博物館において、分かり易く展示・公開しています。また私の出勤日（基本的に火木土）には、「館長による館内ツアー」を実施しています。

なお、金山の現場（中山・内山・茅小屋）は、下部温泉郷の奥、湯之奥の入ノ沢と毛無山山中にあります。身延町杉山から富士川を挟んだ東に見える（通称）「蝙蝠山^{こうもりやま}」に包みこまれています。現地見学会も実施しています。

元気なところに人は集まる

身延町民の皆様はこれを誇りに、自慢し、いろいろな形で自己の活性化の材料にしていきたいと思っています。また金山博物館では、年間を通じ数々の行事を開催しています。元気なところに人は集まります。常に博物館は何らかのメッセージを発信し続けています。活動があれば新聞テレビで報道され館の存在感が高まります。そこへは必ず人が来ます。このことは、入館者が増えていることの要因の一つでもあります。

金山博物館の事業と考え方

金山博物館は公立の登録博物館として身延町教育委員会の所管にあります。それに観光の町ということから両面での事業展開をしています。

博物館本来の仕事は「展示・資料収集保管・調査研究・教育普及」活動です。この中で両面の活動ができるようなプログラムを組んでいます。

（展示活動）は、博物館常設展示（映像シアター、ジオラマ展示、資料展示A、B）、多目的ホール、エントランスを使っています。金山の歴史をどのように分かり易く伝えるか、随所で工夫しています。「百聞は一見に如かず」。まだの方は是非ともお出かけください。常設展示（有料）に加え企画展・特別展（無料）を随時開催で行っています。後者は殆ど学芸員手づくりです。

（調査研究）は、博物館の命綱です。常に最新研究の最前線にいなければなりません。特に湯之奥金山博物館は日本における金山遺跡・金山史研究の唯一の専門館でその最先端にいます。

（教育普及）活動と連動させる形で著名な講師を招き「公開講座」（これまで60回開催）を行っています。これは同時に研究活動の意図があります。記録集『金山史研究』は、すでに学術書としても位置づけられています。

（教育普及）活動は、難しいものだけではありません。210インチの大画面をもつ映像シアター室を活用した子供の教育を意図した「親子映画観賞会」を100回ほど開催してきました。今では身延町全町からの親子が参加しています。家庭のテレビで観ているのと違い、いろいろな家族の皆さんが集まりますから別の教育的効果が期待出来ますし、大人になった時にも郷土の思い出が必ず残ります。第1回からこの効果を期待してのイベントです。

また（教育普及）活動として「砂金掘り大会」があります。毎年100名以上の参加がありますが、町内からの参加者も30～40%になります。同時開催の東西中高交流大会は、兵庫・灘中高、東京・開成中高、埼玉・立教新座中高などの県外勢に、県内からは、駿台甲府中高、山梨学院附属中高が毎回出場、大会を通じ交流を深め、中山金山遺跡へ登り臨地研究なども行っています。彼らは必ずや博物館や金山の良き理解者に育っていきす。未来の来館者に繋がります。

その他、県内外の金山遺跡臨地見学会や、大学の授業の一環であります学芸員実習施設として、県立峡南高校先生・生徒のインターンシップ、県内中学生の施設訪問や、出前授業にも対応しています。

おわりに

金山博物館活動は、このように冒頭でもふれましたように多面的、かつ未来に繋がるイベントを信条に活動しています。少数の職員が知恵と工夫でこなしていきます。なお本号をもって『館だより』の身延町全戸配布が終えますので、今回は改めて館活動のあり方を紹介させていただきました。なお今後は印刷部数を減らし、全国の関係機関への配布になり館の行事案内は「広報みのぶ」に移ります。町内の皆様で今後も『館だより』を希望される方は博物館迄ご連絡ください。

活動報告

平成20年度公開講座終了

10月～2月

昨年10月から開催してきました「湯之奥金山とその周辺～河内地方の原風景を追って②」と題してスタートした公開講座も多くの皆様にご聴講いただき、好評のうちに終了いたしました。

新年に入って1月の講義は山梨県教育委員会学術文化財課の宮里学先生に「河内の職能集団」というテーマで、またラストを飾る翌2月は、山梨郷土研究会の数野雅彦先生に「甲斐国・河内の初期金山を巡る新資料」と題してお話いただきました。

各回とも、湯之奥金山を取り巻く歴史的背景や環境などを、新たな切り口でお話いただきましたが、聴講者の皆さんが大変興味を持ってくださっており、常に講義の後は質疑応答が盛んに飛び交う様子が見られました。

これらの講演は記録集『金山史研究』として随時発刊して参りますのでこちらもご活用ください。また新年度も新たにテーマを設け公開講座を開催して参ります。

平成20年度の有料入館者数は21,683人

去る1月27日に有料入館者22万人目のお客様をお迎えいたしました。この幸運に巡り当たったのは埼玉県にお住まいの竹中満男さんご夫婦。記念入館者となられたことを告げられ、谷口館長から花束と記念品を手渡されると、大変驚いた様子で、同時に大変喜んでいただきました。館長の案内で館内をゆっくりとご見学いただきました。後日、竹中さんからは館へ御礼のお手紙を頂戴いたしました。また一つ目標を達成することが出来ました。

今年は100年に一度の不景気といわれる中で22万人目をお迎えしましたが、今年度も年間2万人以上のお客様をお迎えするという目標を達成することが出来たのは、皆様の温かいご協力とご支援があってこそ、また、館の地道な努力と姿勢が結果として現れたものと思います。これからも変わらず「心地よい空間をお客様にご提供できる博物館」を目指して参りますので、皆様のさらなるご支援・ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

平成20年度 博物館利用状況

年月	開館日数	区分	有 料 入 館 者				無 料 入 館 者	年月	開館日数	区分	有 料 入 館 者				無 料 入 館 者
			観 覧	体 験	共 通	合 計					観 覧	体 験	共 通	合 計	
20. 4	3週無休開館 28	大 人	742	284	868	1,894	10	20. 11	26	大 人	708	371	445	1,524	26
		中学生	2	33	11	46				中学生	1	20	7	28	
		小学生	16	91	75	182				小学生	28	237	61	326	
		小計	760	408	954	2,122				小計	737	628	513	1,878	
5	27	大 人	1,065	420	594	2,079	34	12	23	大 人	205	195	78	478	0
		中学生	4	180	35	219				中学生		18	2	20	
		小学生	31	187	168	386				小学生	5	39	7	51	
		小計	1,100	787	797	2,684				小計	210	252	87	549	
6	26	大 人	598	395	562	1,555	27	21. 1	26	大 人	302	195	183	680	33
		中学生	1	17	15	33				中学生	0	49	19	68	
		小学生	7	104	141	252				小学生	34	50	40	124	
		小計	606	516	718	1,840				小計	336	294	242	872	
7	26	大 人	479	364	594	1,437	22	2	24	大 人	312	126	104	542	2
		中学生	6	15	25	46				中学生	2	3	2	7	
		小学生	34	252	127	413				小学生	4	30	12	46	
		小計	519	631	746	1,896				小計	318	159	118	595	
8	無休開館 31	大 人	923	1,115	1,011	3,049	16	3	1週無休開館 28	大 人	510	269	529	1,308	16
		中学生	12	168	115	295				中学生	6	27	14	47	
		小学生	151	463	512	1,126				小学生	15	92	72	179	
		小計	1,086	1,746	1,638	4,470				小計	531	388	615	1,534	
9	26	大 人	670	359	433	1,462	8	合計	317	大 人	7,164	4,389	5,730	17,283	200
		中学生	2	12	7	21				中学生	37	555	261	853	
		小学生	13	67	53	133				小学生	340	1,891	1,316	3,547	
		小計	685	438	493	1,616				小計	7,541	6,835	7,307	21,683	
10	26	大 人	650	296	329	1,275	6	※企画展・特別展、見学会、親子映画観賞会、砂金掘り大会、日曜コンサートなどの行事参加者はカウントに含まれません。							
		中学生	1	13	9	23									
		小学生	2	279	48	329									
		小計	653	588	386	1,627									

第3回日曜コンサート 弦楽とフルート独奏を楽しむ

3月22日(日)

桜の開花が始まった3月22日(日)の午後、金山博物館多目的ホールで、第3回目となる日曜コンサートが開かれました。

演奏者は、南アルプス桃源交響楽団の指導者を務められていますヴァイオリン村井美代子さん、ビオラ村井功さんご夫妻と、村井さんの音楽家仲間のフルート平田公弘さん、ビオラ浜島多加志さん、チェロ山本敦子さんで、友情出演していただきました。当日の曲目は、桜花の季節に相応しい「春の歌メドレー」から始まり「ジブリシリーズ」、そして平田さんの素晴らしいフルートで「モーツァルト・フルート協奏曲



第1番」が演奏されました。また当日谷口館長の誕生日であったため、急遽、「誕生日の歌」の数バージョンが特別演奏されました。来館中のお客様も思いがけない楽しいひと時が送れましたと喜んでいただけました。村井さんご夫妻には1月11日の第2回日曜コンサートで南アルプス桃源交響楽団(30名)編成での出演をして頂きましたが、今後も、こうした小編成でいつでも友情出演で演奏に来ていただけるということで、博物館発の演奏会が楽しめることになりました。演奏会の日取りは「広報みのぶ」や博物館ホームページでご案内いたします。

埼玉県秩父・股の沢金山遺跡報告会にて谷口館長講演 3月8日(日)

全国各地で金山遺跡の調査が行われている中、秩父市では地域再生元気事業の一環として「股の沢金山」を学術的に調査研究していくことを目的とし、昨年10月に各方面の先生方のご協力をいただき遺跡調査が行われた事は前号でも触れました。このような中、現在までの調査結果の報告会が、秩父地方庁舎で行われ、「秩父金山と武田金山衆」という演題で谷口館長が講演しました。

会場には、収容人数を大幅に越えた100名近い聴講者の皆さんが集まり、金山遺跡を地域再

生にいかに使っていくか、またどのように歴史的に位置づけていくのか、地域再生の方策について全国的にも成功例と言える当館の活動などについて、聴講者の皆さんは谷口館長の話に熱心に耳を傾けていました。また講演後も地域に根ざした内容の深い質疑が飛び交い、地元に関心がいかに高いかということを実感した講演会でした。館としては、今後もこうした金山遺跡に関わる地域活動に対して、出来る限り積極的に協力して参ります。

資源・素材2009春季大会企画発表(於千葉工業大学津田沼校舎) 3月28日(土)

去る3月28日、千葉工業大学にて資源素材学会・日本鉱業史研究会による定期企画発表会が開催されました。その鉱業史での発表は全部で6つの発表が用意されており、その中で当館でも大変お世話になっている久間英樹先生の「探査ロボットを用いた坑道形状測量に関して」湯之奥金鱒遺跡に探査に入ったことに触れ、共同

発表という形で小松学芸員も湯之奥金山遺跡について発表いたしました。会場には当研究会の代表でもある九州大学名誉教授の井澤英二先生をはじめ、他にも鉱業史研究の名だたる先生方が見えられていました。それぞれの発表には様々な意見や質問が出され、重厚な雰囲気での発表会でした。

平成21年度 博物館行事案内

今年もこれから夏にかけて博物館独自イベントが目白押しです。すでに日時が決定している事業をご案内いたします。詳細は次号『館だより』でお知らせいたしますが、次の事業は要申込で、同時に参加申込を受付開始いたしますので、参加を決められた方は是非博物館までご連絡ください。

○第9回こども金山探険隊

日時：平成21年8月1日(土曜日)～2日(日曜日)
参加費：1人 3,500円



※参加費は甲州金地金材料費なので、甲州金を作成しない保護者・付添の方からは徴収いたしません。なお1日目夜に開催いたしますバーベキュー懇親会に参加される場合は、保護者参加者問わず、別途大人1,000円、子供500円を頂戴いたします。

○第9回砂金掘り大会

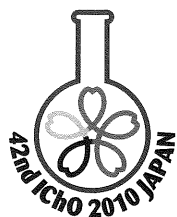
期日：平成21年8月8日(土曜日) 午前9時～12時30分迄
※予備日9日(日曜日)・小雨決行

○第6回東西中高交流砂金掘り大会

期日：平成21年8月8日(土曜日) 午後2時～

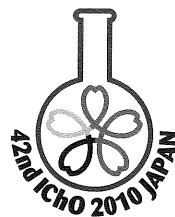
全国から猛者たちが集う毎年恒例・砂金採りの祭典。エントリーは先着100名まで。ジュニア、男女初心者、男女ベテランと3部門に分かれています。午後からの交流大会も応援よろしくお祈いします!





「実験教室～化学実験カーがやってくる」

参加者募集！！



「化学実験カーがやってくる」は、2010年7月に開催される「国際化学オリンピック日本大会」の普及活動の一環で、プレイベントとして行われています。国際化学オリンピックは1968年に始まった、世界の高校生化学の力を競う国際イベントで、毎年世界各地で行われています。

より多くの子供たちが体験的な実験を通して化学を学ぶ楽しさや驚きを体験できるよう、実験キットを乗せて全国どこへでも飛んでいく“実験カー”が、この湯之奥金山博物館にもやってきます。

より多くの子供たちが、体験的な実験を通して、化学を学ぶ楽しさや驚き、魅力を浸透させ、感動を体感できる絶好の機会！甲斐黄金村・湯之奥金山博物館でも、そんな化学実験学習を開催いたします。お誘い合わせのうえ、ぜひご参加ください。

日 時：平成21年7月26日（日曜日）

定 員：各回とも20人まで（要 事前申込、重複参加可能）

対 象：小・中学生

※就学前のお子様でご参加希望される場合は保護者同伴をお願いいたします。

場 所：甲斐黄金村・湯之奥金山博物館 多目的ホール

参加費：♪無料♪（持ち物は特にありません）

講 師：宮本一弘 先生（東京・開成学園教諭・理化学部顧問）

第1回 実験教室 10:30～11:30
対象：小・中学生

冷却パックを作ろう！

内容 たたくとすぐに冷たくなる冷却パックを作ってみましょう。園芸店や薬局で売っている尿素を使って簡単に作ることが出来ます。尿素は植物が育つための窒素肥料として使われている他に、保湿作用を利用して化粧水やハンドクリームにも使われています。



第2回 実験教室 13:00～14:00
対象：小・中学生

水の不思議!?

内容 身近な水には、いろいろと不思議な性質があります。実験をしながら水はどのようなものなのか調べてみましょう。次のような実験を予定しています。

- ・水に浮かべた紙を手を使わずに動かす実験。
- ・油污れが落ちる様子を調べる実験など

第3回 実験教室 14:30～15:30
対象：小学校高学年・中学生

身近なものでおこなう 水の電気分解

内容 水に電気を流して、水の電気分解をします。水の電気分解をして、水が何から出来ているか調べてみましょう。身近なものをを使った実験ですので誰でも出来る簡単な実験です。

お申込み・お問合せ…湯之奥金山博物館 TEL 0556-36-0015/FAX 0556-36-0003まで

館からお知らせ②

「第9回企画展 黄金伝説～虚像と実像」

期日：平成21年4月23日(木)～6月16日(火)

場所：湯之奥金山博物館多目的ホール

「金山」というと、甲斐国では“武田の隠し金山”というような括りで語られることも多いところ。実像と虚像は対極にあるため、学術調査で得られた研究の成果は「実像」、しかし「虚像」で語られることが多いため、何が真実で何が虚像かを確認し、かつ甲斐金山の歴史的な重みを知っていただくという意図のもと、今回の企画展を開催いたします。

常設展示共通セット券をご購入いただいた方、また博物館友の会会員の方は無料でご覧いただけます。企画展のみご観覧を希望される場合は、観覧料100円を頂戴いたします。

5月からの博物館の開館時間について

◎開館時間：午前9時～午後6時まで（受付は閉館30分前まで。休館日・毎週水曜日）

5月から上記のとおり、夏時間となります。また4月23日(木)～5月6日(火)までの期間は、ゴールデンウィークに合わせ無休開館期間いたしております。多くの皆様のご来館をお待ちしております。

博物館日誌 (平成21年1月～3月)

1月	2月	3月
15日(木)	3日(火)	2日(月)
17日(土)	5日(木)	3日(火)
19日(日)	7日(土)	5日(木)
22日(水)	11日(日)	8日(日)
23日(金)	13日(火)	11日(水)
25日(日)	15日(木)	12日(木)
26日(月)	16日(金)	19日(木)
27日(火)	17日(土)	20日(金)
31日(土)	23日(金)	23日(月)
	25日(日)	24日(火)
	26日(月)	28日(土)
	27日(火)	
	28日(水)	
	29日(木)	
	30日(金)	
	31日(土)	

成人の日
巡回展「山梨の遺跡展2009」初日（2月15日迄）

富士川流域王国プランナー会議

中部横断自動車道会議（館長出席）

葦崎西中県内巡り、身延小学校3年町内巡り、館だより47号刊配布

産経新聞甲府支局取材

NHK甲府取材

静岡・常葉大学課外授業

有料入館者22万人達成、湯之奥金山遺跡現場確認

第59回公開講座・宮里学先生

節分会

山梨県立博物館「GOLD展」打合せ

みのぶ小さな旅（下部編）

建国記念日・臨時開館

親子映画観賞会「ドラえもん」のび太の宇宙開拓史

下部温泉魅力づくり協議会ワーキンググループ会議

峡南高校インターシップ研究発表会

巡回展「山梨の遺跡展2009」最終日、湯町悪魔払い

埋蔵文化財センターへ資料返却

南部警察署感謝状贈呈式（館長出席）

身延町観光キャンペーン（於静岡駅）

山梨県立博物館「GOLD展」資料撮影

身延山観光振興まつり打合せ、早川上流文化圏研究所

研究発表会

身延観光キャンペーン（於浜松駅）

東京新聞取材

第60回公開講座・数野雅彦先生

山梨県立博物館「GOLD展」打合せ

西嶋小3年町内巡り

石見銀山センター職員視察

下山小学校3年町内巡り

秩父市講演会出席（館長講演）、考古学・中世史研究会来館

休館日・下部温泉郷魅力作り協議会会議

町内観光施設タイアップ事業打合せ

みのぶ体験スタンプラリータイアップ事業打合せ

観桜期無休開館（2月7日迄）

「GOLD展」打合せ

第3回日曜コンサート

平成20年度博物館運営委員会、大河内小3年町内巡り

臨時開館、身延山五重塔観光振興祭り実行委員会打合せ

親子映画観賞会「クレヨンしんちゃん」ライオンキング

日本鉱業史研究会学会発表（於千葉工業大学）

編集後記

花が咲き始めると気分もウキウキします。ふと気がつくと、土手には土筆も顔を出したりして、そんなのを見かけると季節が巡っているなあと思えますね。

意外に大人になると自然に目を向けやることを忘れてしまいがち。「心を亡くす」と書いて

「忙」という漢字になりますが、忙しさに振り回されて、そう言えば近所の山や海すらも見ていないなどと思った方、少し足元の自然に目を向けてみましょう。

それにしても、桜の開花にしる蚊の出現にしる、自然の事象を見ていると、間違いなく数年前と気候が変わっていることを実感してやまない今日この頃ですね。

博物館だより 第48号 平成21年3月31日

〒409-2947 山梨県南巨摩郡身延町上之平1787番地先 甲斐黄金村・湯之奥金山博物館 電話 0556-36-0015 FAX 0556-36-0003
博物館HPアドレス http://www.town.minobu.lg.jp/local_minobu/kinzan/index.html 博物館Eメールアドレス yunoking@town.minobu.lg.jp